

| | | | |
|------------------|---|-----------------|-------------------|
| 講義コード | 1314 | 科目区分 | 専門教育科目(子ども生活学専攻) |
| (フリガナ) | ホイクジッシュウイチ | (フリガナ) | クニヒロ カツヨ・ヤマグチ キョト |
| 授業科目名 | 保育実習Ⅰ(前半) | 担当教員名 | 国広 勝代・山口 季音 |
| 英文授業科目名 | nursery trainingⅠ | | |
| 基準年次(開講期) | 3年次(通年) | 履修形態 | 必修 |
| 曜日/時限/講義室 | 集中 | | |
| 授業の方法 | 実習 | 授業の方法 (詳細情報) | 保育所実習および施設実習 |
| 単位 | 4 | 週時間 | 2 |
| 授業のキーワード | 保育実習、保育所、施設、直接的かかわり | | |
| 授業概要・目的 | 各教科で学んだ知識や技能を基礎として実際の保育現場で実践や応用ができる総合的な能力を養うことを目指して、保育所と保育所以外の児童福祉施設において実習を行う。そして、実習施設での児童や保護者、職員との直接的かかわりを通して、新たな学習目標を見出したり、保育者として必要な知識や仕事内容、態度を身につけていく。 | | |
| 到達度評価の 評価項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所及びその他の児童福祉施設の役割や機能を具体的に理解できるようになる。 ・保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解できるようになる。 ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 | 【保育実習】 | | |
| 第2回 | 保育所 ……………10日 | | |
| 第3回 | 保育所以外の児童福祉施設 ……10日 | | |
| 第4回 | | | |
| 第5回 | 《事前》 | | |
| 第6回 | ・オリエンテーションを受ける(それぞれの実習先において) | | |
| 第7回 | 《実習中》 | | |
| 第8回 | ・各施設の方針に従って実習を行い、担当者の指導を受ける。 | | |
| 第9回 | ・本学の保育実習担当教員による巡回指導を受ける。 | | |
| 第10回 | 《事後》 | | |
| 第11回 | ・保育所実習から学んだこと、施設実習から学んだこと、実習後の子ども観と新たな学習目標について、「保育実習Ⅰ報告書」として | | |
| 第12回 | まとめる。 | | |
| 第13回 | ・全員で実習の報告会を実施する。 | | |
| 第14回 | | | |
| 第15回 | | | |
| 教科書・参考書等 | 阿部恵・鈴木みゆき編著『教育・保育実習安心ガイド』ひかりのくに 菊地明子著『教育実習ハンドブック—幼稚園・保育所・養護—』明治図書出版 | | |
| 授業で使用する 機器等 | なし。 | | |
| 予習・復習への アドバイス | 保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。 | | |
| 履修上の注意・ 受講条件等 | 保育士資格必修科目。履修前に、「保育原理」、「基礎技能(音楽表現Ⅰ)」、「保育者論」、「保育内容指導法(総論)」の4科目の単位を取得すること。 | | |
| 成績評価の基準等 | 実習園の評価を基にしながら、実習日誌の記録、巡回指導時の学習態度で評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(50/100) 2) レポート(50/100) | | |
| メッセージ | 授業で学んだことを忘れず、緊張感をもって実習に臨むこと。 | | |
| オフィス・アワー | | | |
| その他 | | | |